

令和3年度の主な事務事業の評価結果一覧(教育委員会事務局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	20201010	キャリア在り方生き方教育推進事業	その他	将来の社会的自立に必要な能力や態度を育む教育を全校でより効果的に実践するため、手引きの配布や研修により、「キャリア在り方生き方教育」についての理解を深めるとともに、指導体制の構築や、家庭との連携を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●各校におけるキャリア在り方生き方教育の実施(各種研修会・計84回) ●多様性を尊重する教育の計画的・系統的な推進に向けた学校支援 ●「キャリア在り方生き方ノート」「キャリア・パスポート」の作成・配布 ●「教育だよりかわさき」に実践例を掲載、保護者用リーフレットの作成・配布による理解促進 	6,339	5,801	3	P2
2	20201020	学力調査・授業改善研究事業	その他	学力の状況を的確に把握するために、調査・研究を行い、その結果を活用して、子どもたちが「分かる」を実感できる授業づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市学習状況調査・市学習診断テストの実施 ●「生活や学習に関するアンケート」調査の実施及び調査結果の活用 ●令和3年度全国学力・学習状況調査実施 ●全国学力学習状況調査、市学習状況調査における授業改善研修・説明会をそれぞれ動画による配信にて実施 ●学習指導要領の改訂内容に対応した実践事例集の作成・配布 	51,787	48,057	3	P4
3	20201030	きめ細やかな指導推進事業	その他	習熟の程度に応じた、きめ細やかな指導の充実のために、より有効な指導形態や指導方法について研究実践を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●小中9年間を見通した算数・数学の習熟の程度に応じた指導の実施 ●「きめ細やかな指導 実践編」の冊子の活用や各校種での事例の情報共有 ●学校の実情に応じた少人数指導・少人数学級等の実施と各学校の取組の共有(年2回の双方向型オンライン研修) ●GIGA端末のドリルソフトを活用したきめ細やかな指導の情報共有と研修 	148,521	113,400	3	P6
4	20201040	英語教育推進事業	その他	外国人と直接コミュニケーションを図る機会を増やし、異文化を受容する態度を育成するため、研修の充実により教員の指導力の向上を図るとともに、外国語指導助手(ALT)を活用する等、英語教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●英語教育推進リーダー(24名)による研修会講師等への活用推進 ●ALTの配置・活用による英語教育の推進(小・中学校107名、高等学校6名) ●小学校における中核英語教員(CET)を中心とした指導体制の整備 ●CETへの研修(3回)、ERTへの研修(3回)の実施 ●大学と連携した各種講座や外部試験受験の促進(英語二種免許取得講習受講者数13名、外国語教授基礎論講座受講者数35名) ●小学校英語強化教員(ERT)と学級担任との連携による英語授業力向上(ERT配置校:69校) 	525,891	510,946	3	P8
5	20201050	理科教育推進事業	その他	教員の授業力向上や観察・実験の機会の充実を図り、子どもたちが興味・関心を持って主体的に学習に取り組める魅力ある理科教育を推進します。また、企業や研究機関、大学と連携して、技術者、研究者による派遣授業などの実施を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ●理科支援員の全小学校配置による理科教育の推進 ●横浜国立大学の教職大学院への一本化による新体制下での中核的理科教員(CST)養成プログラムの共同実施とCSTの養成 ●先端科学技術者の派遣授業の実施(実施回数22回) 	16,294	16,163	3	P10
6	20201060	小中連携教育推進事業	その他	新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、不登校などにつながるいわゆる「中1ギャップ」が見られることから、小中9年間の系統的な教育の実施と、小学校から中学校への接続のいっそうの円滑化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●小中9年間を円滑に接続する小中連携教育の実施(全51中学校区) ●小中連携教育カリキュラム開発研究校の研究授業や研究報告書の作成・配布等による研究の実施(2中学校区) ●小中連携教育の実践報告集の編集及び研究成果報告会の実施による有効な実践の共有 	4,285	3,879	3	P12
7	20201070	読書のまち・かわさき推進事業	その他	子どもから大人までが読書に親しめるよう、さまざまな読書活動を推進するため、学校司書の配置による読書環境の整備など、「読書のまち・かわさき 子ども読書活動推進計画」に基づく取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「読書のまち・かわさき 子ども読書活動推進計画(第4次)」を策定 ●総括学校司書の配置(21校)及び学校司書の配置(56校) ●図書ボランティアによる学校図書館の環境整備 ●図書ボランティア等の研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止(計画24回に対して実績10回) ●読書活動優秀団体(個人)や児童生徒(学校)の表彰、川崎フロンターレと図書館との協働による読み聞かせイベント(1回)及び市内の小中学校(3校)において川崎フロンターレのコーチ及び劇団ひとみ座による読み聞かせを実施 	53,470	52,954	4	P14

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
8	20201080	子どもの音楽活動推進事業	イベント等	音楽のすばらしさを味わい、体験することを通して、子どもたちの豊かな感性を育み、生涯を通じて音楽を愛好する心情を育てられるよう、本格的なオーケストラ鑑賞や、市内の貴重な音楽資源を活用した音楽の体験活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「子どものためのオーケストラ鑑賞」は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施(計9,708人) ●「子どもの音楽の祭典」は、本番に向けて練習を重ねたものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ●市内音楽大学と連携した「ジュニア音楽リーダー」の実施(20校) 	28,539	26,640	3	P16
9	20201090	人権尊重教育推進事業	その他	子どもたちの人権感覚や、人権意識の向上を図ります。また、「川崎市子どもの権利に関する条例」の周知と正しい理解の促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●人権尊重教育推進会議の書面開催(1回実施) ●教職員を対象とした研修の実施(研修参加者数:延べ2,837人) ●人権教育補助教材や子どもの権利学習資料、「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」リーフレット等の活用 ●子どもの権利学習派遣事業の実施(派遣学級数:107学級) 	6,808	6,436	3	P18
10	20201100	多文化共生教育推進事業	その他	子どもたちの異文化理解と相互尊重をめざした学習を推進します。また、多文化共生と多様性を尊重した意識と態度の育成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●民族文化の紹介や指導等を行う外国人市民等を「民族文化講師」として派遣(82校、延べ231人) ●外国人教育推進連絡会議の書面開催を通じた情報交換(1回実施) ●「学校の中でできる多文化ふれあい交流会」をオンラインで開催(1回実施) 	1,281	1,321	3	P20
11	20201110	子どもの体力向上推進事業	その他	児童生徒の健全な心身の育成をめざし、地域スポーツ人材を活用しながら学校体育活動の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校総合体育大会の実施(小学校の地区別運動会、陸上記録会は中止) ●休み時間等を活用した外遊びや長縄跳びなどに取り組む「キラキラタイム」の推進 ●顧問教諭と連携・協力して技術的指導を行う部活動指導者の派遣(派遣学校数目標43校に対して実績34校) ●全国大会出場者への旅費等の補助 	75,501	58,757	4	P22
12	20201120	健康教育推進事業	その他	すこやかな学校生活を送るため、健康診断や健康管理の実施、学校医等の配置を行います。また、望ましい生活習慣の確立、心の健康保持、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等、健康教育の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●喫煙・飲酒・薬物乱用防止等の健康教育の推進(薬物乱用防止教室は、実施を予定していた57校全校において実施) ●アレルギー疾患への適切な対応のための研修の実施 ●学校保健安全法に基づく各種健康診断の実施 ●スクールヘルスリーダー派遣による若手の養護教諭等への支援(4名を6校へ派遣) 	621,793	679,214	3	P24
13	20201140	健康給食推進事業	その他	児童生徒の健全な身体の発達に資するために、安全で安心な学校給食の提供を効率的に行うとともに、小中9年間にわたる一貫した食育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「かわさきそだち」の野菜を使用するなど、川崎らしい特色ある「健康給食」の推進 ●学校間の連携強化等による小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進 ●中学校給食の円滑な実施 ●小学校及び特別支援学校の老朽機器更新による給食の実施(機器更新:22校、新規委託:2校) ●学校給食会の運営支援 ●給食費管理等についての調査・研究の結果を踏まえ、公会計化を円滑に実施 	11,178,933	10,675,701	3	P26
14	20201150	教育の情報化推進事業	その他	「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」に基づき、ICT機器整備や研修の充実を図り、児童生徒の情報活用能力の育成、教員の指導力の向上、学校業務の効率化に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」における27項目の各事務事業の推進及び次期計画の策定 ●情報化推進モデル校2校、GIGAスクール推進協力校12校の計14校で、研究及び公開授業・研究報告の実施(目標5校に対して実績14校) ●GIGAスクール構想の整備環境活用推進のため、各校悉皆研修を7回、希望研修を24回、その他研修を52回実施(目標40回に対して実績52回) ●業務の効率化に資する校務支援システムの活用推進及び学習指導要領改訂に伴う帳票変更の実施 ●GIGAスクール構想におけるクラウドサービス活用を前提とした「川崎市立学校情報セキュリティ対策基準」の改正 ●GIGAスクール構想により整備した1人1台端末及び校内ネットワーク環境の円滑な運用管理の実施 	3,093,448	3,327,460	2	P28

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
15	20201160	魅力ある高校教育の推進事業	その他	「市立高等学校改革推進計画」に基づき、生徒・保護者・市民のニーズに応じた、魅力ある高校づくりを進めるとともに、川崎高校及び附属中学校における中高一貫教育や定時制課程の生徒の自立支援の推進を図ります。	●図書館開放の実施(255日)、開放講座は開催を中止、聴講生制度の講座は一部開催(目標4コマに対して実績2コマ) ●定時制生徒の将来の自立に向け、3校で相談・支援を実施 ●ICTを活用した新たな学習の推進や、国際理解教育等の推進	23,739	14,186	4	P30
16	20201180	道徳教育推進事業	その他	「特別の教科 道徳」が実施されることを踏まえ、児童生徒が、生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を養うことができるよう、道徳教育を推進します。	●学習指導要領の趣旨を踏まえ、道徳教育を分かりやすく推進するための具体例を紹介し、担当者の研修を双方向型オンラインで実施(2回) ●教員経験5年目以下の教員(約320名)を対象にした研修の実施(講演会と授業研究会の2回実施)	432	106	3	P32
17	20202020	特別支援教育推進事業	その他	「第2期特別支援教育推進計画」に基づき、共生社会の形成をめざした支援教育の推進や、教育的ニーズに応じた多様な学びの場の整備、小・中・高等学校における支援体制の構築、教職員の専門性の向上等を図ります。	●特別支援学校のセンター的機能による訪問支援(111校)と通級指導教室のセンター的機能による訪問支援(1,285回) ●小・中学校通級指導教室の運営及び国等の動向を見据えながらの運営改善の検討 ●個別の指導計画の作成及びサポートノートを活用した切れ目のない適切な引継ぎの促進 ●特別支援教育研修の実施による専門性の向上 ●医療的ケアを必要とする児童生徒の支援の実施(21名)と支援体制の充実 ●長期入院・入所児童生徒への学習支援の実施 ●小・中・高等学校への特別支援教育サポーターの配置(19,330回) ●児童生徒の実態に応じた交流及び共同学習の実施 ●一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な就学相談の実施	623,234	552,729	3	P34
18	20202030	共生・共育推進事業	その他	豊かな人間関係を育む「かわさき共生*共育プログラム」を実践し、いじめ・不登校の未然防止等を図ります。また、プログラムの「効果測定」の活用により、児童生徒指導の充実を図ります。	●年間2回の共生・共育担当者研修会(4月、8月)の実施 ●研究協力校を含む要請校内研修等の実施(延べ41回)と、協力校情報交換会の開催による学校の取組支援 ●効果測定アンケートの平均値、標準偏差を見直し、集計ソフトの改良版を作成	4,012	2,686	3	P37
19	20202040	児童生徒支援・相談事業	その他	不登校やいじめの問題への対応とともに、子どもたちの豊かな心を育むため、児童支援コーディネーターやスクールカウンセラー等の配置・活用を図ります。また、スクールソーシャルワーカーを各区に配置し、関係機関との連携により児童生徒の抱える課題の解決を支援します。	●市立全小中学校で専任化した児童支援コーディネーターのスキルアップに向けた研修の実施(双方向オンラインなども含め新任研修10回、全員研修1回、特別支援教育コーディネーター連絡会議4回、児童生徒指導連絡会議7回) ●スクールカウンセラー・学校巡回カウンセラーの派遣による専門性を生かした教育相談活動 ●スクールソーシャルワーカーの派遣による、関係部署や関係機関と連携した適切な支援 ●多様な相談機能による相談支援の実施 ●本事業の取組については、概ね予定通り実施したものの、新たにいじめの重大事態が発生	600,080	560,639	4	P39
20	20202050	教育機会確保推進事業	その他	不登校の児童生徒の居場所として適応指導教室「ゆうゆう広場」を運営し、きめ細やかな相談活動を通して、状況の改善を図り、学校への復帰や社会的自立につなげるとともに、中学校夜間学級の運営を行うなど、教育の機会確保を推進します。	●不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立に向けた支援のための居場所としての適応指導教室の運営(登録者数:181名) ●子どもたちの目線により近い支援・相談のためのメンタルフレンドの募集・配置と子どもたちの活動支援(延べ14名) ●西中原中学校夜間学級の運営及び希望者に対する入学・編入相談の充実	75,429	74,309	3	P41
21	20202060	海外帰国・外国人児童生徒相談事業	その他	学校と関係機関が連携して、日本語でのコミュニケーションに不安がある児童生徒等の相談・就学体制づくりを進めます。また、日本語指導等協力者(学習支援員)を派遣するとともに、特別の教育課程による日本語指導体制づくりを進めます。	●各区教育担当や教育政策室、学校で教育相談を行い、日本語指導初期支援員を配置(新規配置125人分) ●国際教室担当者連絡協議会の実施(5回)及び日本語指導非常勤講師研修の実施(3回) ●国際教室担当者及び非常勤講師の巡回により、日本語指導が必要な児童生徒がいる全ての学校で、特別の教育課程による日本語指導を実施 ●希望する学校等に通訳機器を配置(新規40台、計173台) ●学校等へ通訳者の派遣等の支援(222件) ●プレスクールを全区で開催(27組参加)	94,222	70,473	3	P43

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
22	20202070	就学等支援事業	その他	就学援助費や特別支援教育就学奨励費、高等学校奨学金など、経済的支援を行うとともに、法令等に基づく、就学事務を適正に執行します。	●就学援助については、経済的に困窮している保護者に対して必要な援助を実施 ●奨学金については、修学困難な生徒に対する経済的支援を実施 ●就学事務システムを活用し、就学事務を円滑に実施	1,352,768	1,218,684	3	P45
23	20203010	学校安全推進事業	その他	登下校時の交通事故等、地域におけるさまざまな危険から子どもたちを守る取組を推進します。また、学校防災教育研究推進校による研究の推進等、各学校の防災力の向上を図るとともに、子どもたちの防災意識を高めます。	●学校を巡回し、通学路の危険か所のチェックや防犯対策を行うスクールガード・リーダーの配置拡充(目標20名に対して実績25名) ●踏切等の危険か所への地域交通安全員の適正な配置 ●通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険か所の改善の推進 ●学校防災教育研究推進校(目標4校に対して実績7校)による先導的な研究の推進や、各学校の実態に応じた防災教育の推進	157,192	93,276	2	P47
24	20203020	学校施設長期保全計画推進事業	施設の管理・運営	既存学校施設の改修等の再生整備手法により、より多くの学校の教育環境改善を図るとともに、老朽化対策、質的改善、環境対策による長寿命化を推進します。また、計画的に予防保全を実施します。	●学校施設の長寿命化・再生整備の推進 ・校舎の工事(16校) ・体育館の工事(3校)	7,786,807	6,977,874	3	P49
25	20203030	学校施設環境改善事業	施設の管理・運営	教育環境の向上をめざし、トイレの快適化やバリアフリー化、エコスクール化を進めます。また、地域の防災力の向上に向け、非構造部材の耐震化など、学校施設の防災機能の強化を図ります。	●学校トイレの環境整備の推進(計画123校に対して141校完了) ●既存校のエレベータ設置の推進(計画150校に対して実績163校完了) ●非常用電源としての蓄電池の整備(計画64校に対して実績68校完了) ●全校の体育館に大型冷風扇を配置、空調効率向上のため普通教室・管理諸室の空調洗浄の実施	1,743,692	5,019,882	2	P51
26	20203040	学校施設維持管理事業	施設の管理・運営	学校施設・設備の保守・点検や維持管理、補修などを計画的に実施します。	●学校施設・設備の保守・点検や維持管理、補修などの実施	3,687,187	3,438,328	3	P53
27	20203050	児童生徒増加対策事業	施設の管理・運営	児童生徒の増加や義務標準法の改正に的確に対応するため、各学校の児童生徒数の将来推計値に基づき、教室の転用、校舎の増改築、新校設置、通学区域の見直し等の適切な対応を図り、良好な教育環境の維持に努めます。	●住宅開発・人口動態を捉えた児童生徒数及び学級数の推計の実施 ●児童生徒数の動向等に応じた地域ごとの対応の検討 ●大師周辺地区等における通学区域の見直し及び新川崎地区新設小学校開校に向けた基本設計の実施 ●校舎増築工事(完了:高津小・柿生小・東小倉小)	2,108,591	1,958,047	3	P55
28	20204010	地域等による学校運営への参加促進事業	その他	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の取組成果を他の学校に波及させるとともに、学校教育推進会議の充実を図ることなどにより、学校・家庭・地域社会が連携して、よりよい教育の実現をめざす。	●学校運営協議会(28校)と学校教育推進会議(146校)の実施 ●学校運営協議会の効果検証に基づき、令和4～7年度の4年間で学校運営協議会の全校設置計画の作成及び新規設置校の準備 ●コミュニティ・スクール連絡会やコミュニティ・スクール・フォーラムの開催及びリーフレットの作成・配布による実践成果の普及・啓発	3,295	1,809	3	P57
29	20204020	区における教育支援推進事業	その他	各区に配置した区・教育担当を中心に、区役所と連携しながら、学校と地域との連携強化や学校へのきめ細やかな支援を推進します。	●区におけるきめ細やかな学校運営全般に対する支援 ●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、区役所の衛生課等の関係機関と連携した学校支援の実施 ●各区の「要保護児童対策地域協議会実務者会議」での情報共有などによる子ども支援の推進 ●「学校支援センター」による学校支援活動は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため減少(派遣数目標5,000人に対して実績153人)	5,227	4,334	4	P59
30	20204030	地域に開かれた特色ある学校づくり推進事業	その他	地域人材の活用を図るとともに、学校の自主性・自律性を高めるなど、特色ある学校づくりを進めます。また、学校の取組を自主的・自律的に改善するためのしくみとして学校評価を推進します。	●「夢教育21推進事業」を全校で実施 ●学校評価の実施について、全校で自己評価及び学校関係評価を実施 ●学校教育ボランティア配置による学校活動の支援については、ボランティアコーディネーターを137校に配置	134,940	112,629	3	P61

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
31	20204040	教職員研修事業	その他	子どもたちと共に学び続ける教員であるために、ライフステージに応じた教職員研修を推進します。特に学校全体の教育力向上をめざして、経験の浅い教員の資質・能力向上とミドルリーダー育成の充実を図ります。	●育成指標に基づく研修を計画、実施(必修研修として39講座140回、希望研修を36講座88回)。特に、1人1台配布されたGIGA端末を効果的に活用し、単方向型(動画配信)及び双方向型オンライン研修の実施を推奨し、教職員が学び続けることができる研修体制を構築	26,937	19,215	3	P63
32	20204060	教職員の選考・人事業務	その他	施策推進に資する定数算定を行うとともに、教職員採用についての改善等による創意と活力にあふれた優秀な人材を確保します。また、学校の適正な運営の確保及び教育力の強化に向けた教職員配置を実施します。	●指導方法工夫改善対応教員の一部を専科指導担当教員へ振り替える等効果的な定数配当の実施 ●教科担任制の導入を見据えた教員公募や、特別支援学校と特別支援学級間の人事異動による専門性の確保等効果的な教職員配置 ●少数指導等に対応した非常勤講師の配置等適切な教職員配置の実施 ●教員採用試験説明会でのオンライン活用、デジタルコンテンツの公開やSNSを活用した情報発信等の新たな取組、大学推薦、教職経験、TOEIC等の資格を考慮した特別選考等による人物重視の採用選考を実施	1,175,654	1,089,089	3	P65
33	20204070	学校業務マネジメント支援事業	その他	学校の教育力を高めるため、諸経費の適切な予算措置や教材の整備等の学校運営支援を行うとともに、教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針に基づき、業務の効率化に向けた取組を推進します。	●令和2年度の業務改善推進校3校の活動報告動画の共有及び業務改善推進校21校における業務改善活動の実施 ●「第2次教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針」策定 ●教職員事務支援員又は障害者就業員の全小中学校配置継続による負担軽減の実施(166校) ●部活動指導員の配置拡充による負担軽減の実施(51校) ●学校法律相談の実施 ●各校の実情に応じた予算調整制度の運用及び理科教育に関わる備品の全小学校への整備(114校)	4,250,642	3,804,984	3	P67
34	20301010	家庭教育支援事業	参加・協働の場	子育て期の市民を地域全体で支え合う家庭教育環境を構築します。	●PTAによる家庭教育学級開催の支援(開催数目標163校に対して実績85校) ●全市・各区「家庭教育推進連絡会」の開催による情報共有の推進 ●企業等と連携した事業実施(4回)及び福祉部門と連携した情報提供など家庭教育支援の推進	2,241	991	4	P69
35	20301020	地域における教育活動の推進事業	参加・協働の場	地域社会でいきいきと活動する市民や、子どもたちの成長を見守り支えている市民の意欲・力を、社会全体の活力や地域の教育力の向上につなげられるよう支援します。また、「川崎市子どもの権利に関する条例」に基づき、地域における子どもの育ちや意見表明を促進します。	●情報共有の推進や担い手育成等、各行政区・各中学校区地域教育会議の活性化に向けた支援を実施(ネットワーク推進会議3回、交流会1回、養成講座3回) ●市子ども会議の開催(21回)と各行政区・各中学校区子ども会議との連携した子ども集会の開催 ●地域のスイミングスクール等と連携した、子どもの泳力向上プロジェクトの実施(参加者数:2,683人)	34,926	19,865	3	P71
36	20301030	地域の寺子屋事業	参加・協働の場	地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めることを目的に、地域が主体となって子どもたちに放課後週1回の学習支援と、土曜日等に月1回の体験活動を行う「地域の寺子屋事業」を推進します。	●地域や学校の状況を踏まえた地域の寺子屋事業の推進(76か所) ●養成講座等による、地域の寺子屋の運営に関わる人材(寺子屋先生・寺子屋コーディネーター)の確保(目標2,500人に対して実績968人) ●地域の寺子屋推進フォーラムの開催による普及・啓発 ●外国につながる児童を対象とした寺子屋分教室の実施(4か所)	94,832	64,759	4	P73
37	20302010	社会教育振興事業	参加・協働の場	教育文化会館・市民館・分館において、市民の学習や活動の支援、社会教育を担う団体やボランティアの育成、市民のネットワークづくりなどを行うとともに、学習の成果や地域の人材資源の活用を図り、市民の力による地域の教育力とまちづくり力の向上を図ります。	●子育てや、平和・人権・男女平等など、市民館における社会教育振興事業の実施(目標300事業に対して実績230事業) ●市民が学びにより得た知識や経験を身近な地域で活かす市民講師の養成講座の実施及び活用 ●市民提案・協働による課題解決型事業の推進、地域の生涯学習をコーディネートする人材の育成	54,651	51,084	4	P75

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
38	20302020	図書館運営事業	施設の 管理・運 営	市民の読書要求に応え、市民の課題解決に役立つために、多様な図書館資料を収集・提供するとともに、レファレンスの向上、インターネットやICTの活用、関係機関や学校図書館との連携促進などを図りながら、効率的・効果的な図書館運営をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な市民ニーズに応えるための資料の充実・タイトル数の確保(89万タイトル) ●ICT機器を活用した効率的な図書館の運営及び維持管理 ●図書館総合システムの円滑な運用及び次期システムの検討 ●来館困難者や高齢者、障害者等への支援のほか、有料宅配サービスの実施 	814,697	769,731	3	P77
39	20302030	生涯学習施設的环境整備事業	施設の 管理・運 営	市民の生涯学習や地域活動の拠点として、身近な学校施設を有効活用するとともに、社会教育施設等の環境整備を図るなど、市民の生涯学習環境の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●校庭145校、体育館166校、特別教室134校における学校施設の開放及び更なる活用を図るモデル事業の実施・検証は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け実施できなかったものの、取組を推進するための庁内体制を構築 ●宮前市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転・整備に向けて基本設計に着手し、管理運営計画の策定に向けた取組を実施 ●既存施設(労働会館)の活用による川崎区における市民館機能の移転に向けて、基本計画に基づき、労働会館の改修工事に向けて実施設計に着手し、管理運営計画の策定作業を実施 ●社会状況の変化や多様な市民ニーズに対応するため、「今後の市民館・図書館のあり方」を策定 	593,167	453,028	4	P79
40	20302040	社会教育関係団体等への支援・連携事業	その他	生涯学習団体や主体的に活動する社会教育関係団体に対し、その活動や市民との協働によるまちづくりに資する事業等について、補助金の交付や協働での事業実施、求めに応じた助言等を行うことで、支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習財団に対して補助金の交付や助言等を行い、財団による生涯学習活動の支援、多様な主体と連携などを促進 ●川崎市PTA連絡協議会等に対して補助金の交付や助言等を行い、児童・生徒の健全な育成とPTAの生涯学習活動の充実に寄与 ●川崎市地域女性連絡協議会に対し、補助金の交付や助言等を行い、平和・人権や男女共同参画等に関する学習・実践及び情報交換などの地域活動を充実(財団補助事業参加者数の目標12,700人に対して実績7,327人) 	144,469	144,311	4	P81
41	40802020	文化財保護・活用事業	その他	市民の郷土に対する認識を深め、地域の人々の心のよりどころとなるよう、歴史の営みの中で、自然環境や社会・生活を反映しながら、育まれ、継承されてきた文化財の適切な保存と活用を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市文化財保護活用計画」に基づき「川崎市地域文化財顕彰制度」において、第4回川崎市地域文化財31件を決定(総計190件) ●指定文化財の保存修理等については、市民ミュージアム所蔵の考古資料の修理、有形文化財の修理に対する助言等を適切に実施 ●専門的な知識を有する文化財ボランティアの育成・確保については、ボランティアが参加した事業日数20日を目標としたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ボランティアの活動を中止 ●埋蔵文化財の発掘調査等の実施については、周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に伴う試掘調査や、重要遺跡の内容確認調査、公共事業及び個人住宅建設等に伴う発掘調査等を適切に実施 	64,114	47,798	4	P83
42	40802070	橘樹官衙遺跡群保存整備・活用事業	その他	古代川崎の歴史的文化遺産を後世まで継承するため、市内で初めて国史跡に指定された「橘樹官衙(たちばなかんが)遺跡群」(橘樹郡家跡と影向寺遺跡)の保存・活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●史跡橘樹官衙遺跡群保存活用計画」に基づく保存管理・活用の実施については、有識者会議5回を実施 ●史跡指定地の公有地化を3か所実施 ●史跡めぐりで35人、橘樹学講座3回で73人、発掘調査現地見学会で200人、講師派遣による講座(2回)で30人が参加。研究セミナーは新型コロナウイルスのため中止したが、参加予定者120人には資料送付。各種活用事業の参加者目標の350人を上回る458人が参加 ●「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づき、史跡整備(緑地整備)実施設計を作成するとともに、復元建物の実施設計を作成 ●橘樹官衙遺跡群の調査・研究の推進については、橘樹郡家跡(第35次)と影向寺遺跡(第30・31次)の発掘調査を実施 	660,509	531,654	3	P85

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
43	40802100	日本民家園管理運営事業	施設の 管理・運 営	国・県・市の指定文化財25件を有する日本有数の古民家の野外登録博物館として、その貴重な文化財を適切に保存・活用し、市民の文化・学術・教育の向上を図るため、「日本民家園」を運営します。	<ul style="list-style-type: none"> ●江戸時代の古民家の野外展示(年間来園者数:目標138,000人のところ実績101,664人) ●伝統的生活文化に関する企画展示(2回)、各種講座等教育普及事業の実施(139回) ●新型コロナウイルス感染症拡大を受け教育普及事業の回数は減少したが、非来園型サービスとして公式サイトコンテンツを充実 	349,843	350,222	4	P87
44	40802110	青少年科学館管理運営事業	施設の 管理・運 営	自然・天文・科学の各分野において、市民への科学知識の普及啓発や科学教育の振興のため、市内唯一の自然科学系の登録博物館として、「青少年科学館」(かわさき宙と緑の科学館)を運営します。	<ul style="list-style-type: none"> ●自然・天文・科学の3分野の実物・標本・模型などの展示の充実(年間来館者数:目標291,000人のところ新型コロナウイルス感染症の影響により実績253,177人) ●自然・天文・科学関係の講座・講演会・実験教室等、教育普及の取組の推進(参加者数:11,182人) ●研修会の実施等によるボランティアの育成、市民活動団体等の支援(実施回数:13回) ●生田緑地における他博物館や美術館との連携事業の充実(実施回数:2回) ●開館50周年記念事業の実施(実施回数:9回) 	124,709	120,362	4	P89

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和3年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示したものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和3年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁	
						予算額	決算額 (見込)			
1	10101070	本庁舎等運営事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の中核拠点としての耐震性能を確保するため、建替えの取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●新本庁舎超高層棟新築工事の推進 ●新本庁舎後元棟新築工事の着手 ●第2庁舎解体設計の推進 (当初計画の令和元年度新本庁舎新築工事着手に至らなかったため、全体事業計画に遅れが生じ、完成見込みは当初計画と同じ年度ではあるものの、令和4年度末となっております。) 	6,263,976	6,040,238	4	P●●	①「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を掲載
2	40205010	地域情報化推進事業	その他	市民生活の更なる利便性の向上等を図るため、市内の公衆無線LAN環境の構築を進めるとともに、地域情報の効果的な発信を図ります。公共データを市民サービスやビジネスにつなげるため、オープンデータの公開を進め、その効果的な利活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●かわさきWi-Fiの利用範囲の拡張(アクセスポイント数:目標2,400か所のところ実績1,785か所) ●かわさきアプリの運用(アプリダウンロード数:359,707回) ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業者等登録数:337団体) ●更なるオープンデータの公開(公開データセット数:319件) ●川崎市LINE公式アカウントやAIチャットボットを活用した情報発信 ●簡易版電子申請サービスを活用した行政手続のオンライン化の推進 	19,815	18,311	4	P●●	②市民サービス等の分類を記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他
3	40205020	行政情報化推進事業	その他	「情報化推進プラン」に基づく情報化関連施策の進捗管理を進めるとともに、マイナンバー制度の効果的・効率的な運用や、働き方・仕事の進め方改革に基づいたICTの活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進プランの策定 ●他の自治体等とのマイナンバーによる情報連携の安定的かつ円滑な運用 ●区役所・支所へのマイナビポイント支援窓口の設置及び健康保険証利用の事前登録作業の実施(支援件数:66,034件) ●1,000台のテレワーク専用端末を活用したモバイルワーク・在宅勤務の本格運用開始 ●ICT活用・ワークスタイル検討部会における新本庁舎での機器や回線など環境整備の検討及び全庁への提示 	164,429	143,440	3	P●●	③事務事業の概要を記載
4	40205030	電子申請推進事業	その他	パソコンなどを利用してインターネット上から24時間申請することが可能な電子申請システムの安全で安定的な運用を行い、利便性の高い電子行政サービスを提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ●電子申請システムの安定的な運用及び利用者の利便性向上に向けた機能改善の実施(電子申請システムの利用件数:目標172,000件、実績437,158件) ●次期電子申請システムの導入に向けた検討 ●IDC(インターネットデータセンター)の適切な運用 	326,002	323,989	2	P●●	④令和3年度に実施した主な取組の実績を定量的な数字を含めて記載
5	40901010	シティプロモーション推進事業	その他	本市の多様な魅力をさまざまなメディアやブランドメッセージを効果的に活用し、市内外や海外に情報発信するとともに、民間活力を活かした地域資源の発掘や新たな魅力づくり、連携等により、川崎の魅力をより高め、市民のシビックプライドを醸成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「シティプロモーション戦略プラン」に基づく下記の各取組推進の結果、シビックプライド指標は前年度を上回るも、「愛着」は目標6.5に対し結果5.5、「誇り」は目標5.5に対し結果4.9と、いずれも目標を下回った。 ●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅力発信 ●Twitterや動画等を活用した情報発信 ●新型コロナウイルス関連情報発信(動画特設ページ、子どもたちへのメッセージ等) ●ブランドメッセージポスターの制作及び市内全域への展開 ●都市ブランド推進事業の実施支援 	32,505	23,514	4	P●●	⑤令和3年度の予算額及び決算額(見込)を記載
6	40901020	国際交流推進事業	イベント等	海外からの視察受入や国際交流協会との連携により、行政だけでなく市民による国際交流を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●瀋陽市との姉妹都市提携40周年を記念した市長親書の交換、両市の高校生によるオンライン青少年交流等を実施 ●ウーロンゴン市に対し、川崎ジュニア文化賞受賞者等によるビデオメッセージを制作し、送付するなどの交流を実施 	37,229	23,532	3	P●●	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	50101060	地方分権改革推進事業	その他	自主的・自立的な行政運営に向けた取組を推進するため、国に対して事務・権限の見直し等に関する提案を行います。また、県・市間の事務・権限の見直し等に関する協議を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●他の指定都市等と共同で提案を行うなど、地方自治体が協調した取組の推進 ●新たな地方分権改革の推進に関する方針の改訂 ●国等に指定都市市長会や九都県市と連携し要望活動を実施 	724	737	3	P●●	⑦参考資料における当該事務事業の評価シートの掲載ページを記載
8	50102010	広聴等事務	公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等	車座集会での市長と市民との直接対話のほか、手紙、FAX、メールなどの身近な手段により、市政に対する声を広く収集します。また、市政に対する市民の意識を調査するため、市民アンケートを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●車座集会の実施(実績:年2回/目標:年8回) ●市長への手紙による市民の声の収集(実績:年4,059件/目標:1,200件) ●市民アンケートの実施(実績:年2回/目標:年2回) ●広聴等業務に係るスキルアップ研修の実施(効果を感じた受講者の割合 実績:86%/目標:80%) 	8,309	10,868	4	P●●	